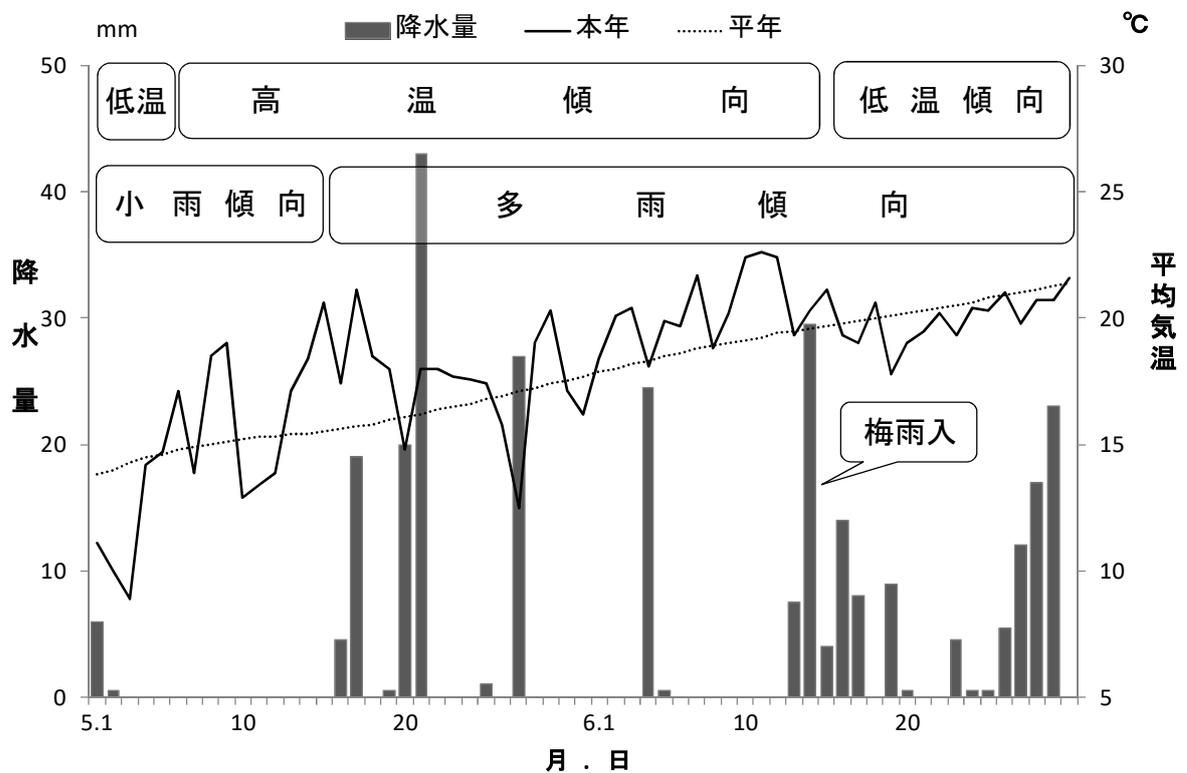


令和3年 作物技術普及情報 第11号

水稻の生育状況等について

令和3年 気象経過(穂高アメダス 5月1日~6月30日)



1 気象状況

梅雨入り以降は、やや低温傾向が続いています。6月24日気象庁発表の向こう1か月予想では、平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は平年並または多いと予想されています。平均気温は平年並みと予想されています。

2 水稲の生育状況

7月1日現在、水稲の生育は、あきたこまち、コシヒカリともに概ね平年並みの生育進捗と思われます。

5月上旬に移植された早生品種では、幼穂形成期を迎えた圃場もあるようです。

標高別、田植え時期別の生育状況については、別添「松本地域における発育指数（DVI）による水稲生育予測」をご覧ください、追肥作業にご活用ください。

安曇野市 豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)の場合													
コシヒカリ 稚苗	DVI	幼穂長 2mm	幼穂長 10mm	出穂期	あきた こまち 稚苗	DVI	幼穂長 2mm	幼穂長 10mm	出穂期				
		の予測日	の予測日	の予測日			の予測日	の予測日	の予測日				
		本年	0.554	7月15日			7月22日	8月7日	本年	0.655	7月7日	7月14日	7月29日
		平年	0.534	7月16日			7月23日	8月9日	平年	0.664	7月6日	7月13日	7月28日
生育進捗	概ね平年並み				生育進捗	概ね平年並み							

注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期

注) 幼穂長2mm = 幼穂形成期

定点圃場における7月1日の生育調査では、平年より草丈はやや長く、茎数もやや多くなっています。

7月1日現在 水稲生育状況

	安曇野市豊科 水稲奨決ほ (5月15日田植) (標高: 560m)					
	コシヒカリ		あきたこまち		美山錦	
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)
本年	53	702	52	581	52	577
平年	49	647	50	554	51	489
平年比	108%	109%	104%	105%	102%	118%

3 高温障害対策について

7月のポイントは「適期中干しによる適正茎数確保」と「黄化させすぎない適期・適量穂肥」です。

現在、最高分けつ期を迎え、畝間の見えないような茎数過剰の圃場も見られます。茎数過剰で中干しが未実施の圃場では、早急に中干しをお願いします。

これから穂肥の追肥時期を迎えますが、追肥時期を失しない様にご指導をお願いします。

4 葉いもち病、カメムシ対策（畦畔除草）について

梅雨入り以降、降水量はやや多く、梅雨らしい模様となっており、いもち病に注意が必要な状況と思われます。

7月1日現在の葉いもち病感染好適条件の判定結果では、6月14～19日、6月28～30日にかけて、松本管内で感染好適条件が出現しています。

条件が揃えば、感染好適条件から7日程度で、病斑が確認できると思われますので、常発地帯・多発したことのある圃場、苗箱剤の未使用圃場等では、圃場をよく観察していただき、発生状況によっては防除対策を講じてください。

水田畦畔や水田周辺の雑草防除はカメムシ対策に有効です。カメムシの本田への追い込みを防ぐためにも、出穂2週間前までに（遅くとも7月22日：海の日までに）、畦畔除草をすませるようにお願いします。

5 大豆の湿害・雑草対策について

現在、小麦後大豆は播種最盛期です。播種後1か月間は、大豆の出芽～初期生育を確保し、効果的な雑草防除に最も重要な時期ですので、下記の点についてご留意ください。

(1) 湿害対策の徹底

額縁明渠や排水溝等を設置し、湿害対策をしっかりと行うことが、大豆の出芽や初期生育を安定させるのに最も重要です。また湿害対策が干ばつ対策にもつながります。

明渠や排水溝はただ掘るだけでなく、水尻につながっているか・・圃場外に確実に排水ができているか・・を再度ご確認ください。

(2) 雑草対策について

播種後土壌処理除草剤の散布は必ず実施してください。播種後土壌処理除草剤の効果を引き出すには、除草剤処理時の碎土状況（粗いと効果が劣る）や土壌水分状況（乾きすぎだと効果劣る）が重要なポイントです。

降雨が続いて、播種後土壌処理除草剤の散布ができない場合は、大豆の出芽後に処理可能な除草剤をご検討ください。

また播種後2週間位で圃場を観察し、除草剤の効果の確認をお願いします。残草状況によっては、茎葉処理剤の処理をご検討ください。

雑草が大きくなりすぎ、茎葉処理剤の効果が十分に発揮されない場合がありますので、タイミングを失しないようにお願いします

6 麦の収穫状況

不安定な天候でしたが、収穫作業は順調に進み小麦の収穫は概ね終了しました。小麦も凍霜害で登熟ムラが大きく、収穫や乾燥調整が大変でしたが、ご苦労様でした。